

知れば
知るほど!!

鎌倉時代と狭山市にゆかりの地

清水冠者義高

しみずのかじゃ (かんじゃ) よしたか

2022年、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)がスタートします。
同時代を生き、ドラマの中にも登場する清水冠者義高ゆかりの史跡
が狭山市にあります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SDGsの関連アイコンを特集ページに標記しています



清水冠者義高こと源義高は、源義仲の子です。成人の儀を終えたばかりの11歳のときに、源頼朝の元へ人質として送られました。鎌倉で頼朝と北条政子の子、大姫の婿として1年を過ごしますが、父義仲が頼朝に討たれたことで、状況は変じます。頼朝は、義高が自分の事を父の敵と思っているのではないかと疑い、義高殺害の必要性を部下にほめかします。これを漏れ聞いた大姫の助けで、義高は屋敷から脱出。細心の注意を払いながら逃走しますが、追っ手に見つかり、「入間河原」で討ち取られてしまいました。

狭山市には、義高が追っ手から身を隠したと言い伝えられている影隠地蔵、そして、義高が討たれたとされる入間川沿いには、義高を祭る清水八幡があります。

2022年1月放送開始予定
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)

大河ドラマ
鎌倉殿の13人
THE 13 LORDS OF THE SHOGUN

華やかな源平合戦、その後の鎌倉幕府誕生を背景に
権力の座を巡る男たち女たちの駆け引き——
源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした男 二代執権・北条義時。
野心とは無縁だった若者は、いかにして武士の頂点に上り詰めたのか。
新都鎌倉を舞台に繰り広げられる、パワーゲーム。
義時は、どんなカードを切っていくのか——

※放送に関する詳細情報はNHK (<https://www.nhk.or.jp/>)でご確認ください

狭山の史跡や
歴史との関わりがあると、
大河ドラマがもっと
楽しくなりそうですね。
社会教育課・三ツ木主査



影隠地蔵

狭山市指定文化財

所在地：柏原204番地の1

信濃坂の下、広瀬地区と柏原地区の境にある奥州道の交差点付近に立っている影隠地蔵。義高が、頼朝からの追っ手をやり過ごすため、一時的に地蔵の背後にその姿を隠したといわれています。

昔は鬱蒼とした篠竹の藪の中に地蔵堂があり、その中に木像が安置されていたと伝えられています（現在は石の地蔵）。



入間川

義高は頼朝の追っ手から逃れようとしたましたが、入間河原で捕まり討たれたとされています。

5月になると、「源義高鯉のぼりの会」の皆さんによって、義高の供養と子どもたちの健康、成長を祈念したたくさんの鯉のぼりが入間川を彩ります。



清水八幡

狭山市指定文化財

所在地：入間川3丁目35番9号

義高を祭神とする神社です。入間河原で討たれた義高の死を哀んだ入間川の里人が、その遺骸を埋めて墓を築いたとされています。また、この話を聞いた北条政子は、墓を清水八幡とし、入間河原の近隣鎮護の神として祭られるようになったと伝えられています。

その後洪水で流されるなどし、幾度か場所が変わりましたが、現在は最初の墓に近いとされる場所に祭られています。



問合せ 社会教育課へ内線5675

参考:「吾妻鏡」「平家物語」「八幡神社縁起」 ※諸説あります